

2024年7月号 Vol. 80 (2024年7月1日発行)

せんしゅん

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索



ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.2.0)認定病院

発行責任者：菊地 孝三



朱い鳥居が並ぶ 長法稲荷神社(京都府長岡京市)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

「地域包括医療病棟」の使命

— さらに地域に根差した病院を目指し —

医療法人社団 千春会
副理事長 菊地 三弥

梅雨に入り、時に激しく降る事もありますが、今年は、大地を潤す恵みの雨になればと願っております。

そして梅雨が明ければ、今度は太陽が輝く、本格的な夏を迎えます。皆様におかれましては、暑さ対策を万全に行い、真夏の暑さも元気に乗り越えていただきたいと思います。

2024年も早いものであつという間に半年が過ぎ、始まりとなった元旦の能登半島地震では、多くの方がボランティアや支援活動に赴かれる中、当院からも何かできないものかと私を含め、総勢約20名(延べ70～80名)の支援スタッフが現地の病院に伺いました。被災地での支援活動から、私共も様々な気づきを得て、この乙訓地域での災害対策を見直すきっかけとなりました。

実際の状況を目の当たりにし、医療関係者の方々から生の声を聞かせていただいたことで、これまで考えもつかなかったご苦労や困難を知りました。この経験を当法人ひいては地域のために、少しでも今後活かすことができればと考えております。復旧はまだまだと聞き及んでおり、1日でも早い復興を祈念いたしますと共に、必要なことがあれば継続して支援させていただきたいと存じます。

さて、6月には、改定された新しい診療報酬がスタートいたしました。その中でも今回の改訂の目玉と言われているのが新設された「地域包括医療病棟」です。この病棟の役割としては「地域包括ケアシステム」において、少しでも多くの方が住み慣れた地域で医療・介護を完結することが出来るよう、より地域に根差した医療を提供

することであると考えています。

これはまさに、当法人の理事長がこれまで「地域のかかりつけ病院」として、目指してきた方向性と合致していると感じております。

開設要件のハードルが高いと言われた「地域包括医療病棟」ですが、幸いにも現体制で、全ての要件を満たすことが出来ておりましたので、全国でもいち早く6月1日に全60床を「地域包括医療病棟」に変更するという決断をいたしました。要件の中で重要視されているリハビリ、栄養、口腔ケア、さらには身体拘束などに関しても、これまで当院が力を入れてきたことであり、引き続き注力してまいります。

また、特に高齢者に多いとされる誤嚥性肺炎、慢性心不全、各種骨折をはじめとした日常的に高頻度で遭遇する疾患に対する治療におきましても、質をさらに高めるべく、各診療科のエキスパートを迎え入れ、一層充実した体制を敷いてまいります。加えて、この5月からは血液内科及び緩和医療の専門医が赴任され、終末期における緩和医療の質向上が図られるものと考えております。

新病棟になった後も、これまでの方向性からブレることなく、良質なサービスを提供するべく、邁進してまいります。

近年、大企業や政治の不正、不祥事が相次いでいます。当法人も対岸の火事と思わずコンプライアンス遵守に努めつつ、より一層地域のために尽力してまいりたいと存じます。引き続き、皆様方のご理解、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

講演会 開催

千春会では、日本の医療・介護・福祉政策の現状や最新情報を認識し、未来を見据えた地域貢献のため、法人全体で見識を深めています。

毎年、講演会をご快諾いただいている、埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授の田中滋先生は、日本の医療・介護政策へのご提言や研究で、国の政策実現に長年ご尽力されておられる大変ご高名な先生です。

今回は、田中 滋先生と共に慶應義塾大学環境情報学部大学院教授 秋山 美紀先生にもお越しいただきました。

講演会には、長岡京市中小路健吾市長はじめ松本副市長、健康福祉部川村部長、乙訓保健所西浦所長も参加され、広く地域全体で学びを深めることができました。

まず、田中 滋先生の御講演に先がけて、昨年末まで中央社会保険医療協議会の公益委員として、会議に出席して来られた秋山先生からは「臨場感あふれる、現場ならではのこぼれ話」を拝聴させていただきました。



田中 滋先生(中央)、秋山先生(中央右)、
長岡京市 中小路市長(中央左)を囲んで
菊地 孝三理事長(右)、藤原院長(左より2番目)、菊地副理事長(左)

埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 先生 講演会 テーマ：「医療システムと医療機関の進む道 ― 歴史を踏まえ、未来を探る ―」

冒頭では「いよいよ、経営者次第では、病院も介護施設も淘汰の時代が到来する。」という点をこれまでになく強調されました。



講演中の田中 滋先生

続いて、医療、介護、入院ニーズの変化や急性期入院患者の変容等について、30年～50年前には「急性期医療～回復期～療養・介護」という流れだったものが、超高齢者の増加により、現在は急性期入院前には、半数の高齢者が要介護あるいはフレイル状況であること、今後も慢性疾患であるか、または要介護状態の急性増悪での救急ニーズが増加すること、尊厳ある看取りのためには多様な機能が求められる事などを変遷の中で、わかりやすくご説明いただきました。

日本では、消防や警察といった当たり前の機能が日常生活を保つのと同様に、地域包括ケアシステムの機能や医療・介護に携わる方々がいるからこそ、安心して働ける仕組みが構築され、「日本の働き手」が守られ、ひいては日本経済を支える一助となっていること等もあらためて示されました。

地域包括ケアシステム構築を目標とした2025年を目前に、これから2040年に向かっては超高齢者は多数亡くなる一方、働き手が大幅に減少する。その中で急性期医療を無駄に使用せずに穏やかな最期を迎えるためには、どのような政策が必要か。『新しいサービス手段をどのように提供するかを考えるのも、提供していくのも、医療・介護経営者であり、さらには変化する医療・介護の現状に合致した政策を提供するのは、市長や医療・介護を含む地域の経営者である。』と述べられました。

その上で、地域ごとに異なる医療資源を認識し、住民の意識を高め、自分たちが暮らす地域や街はどうあるべきなのか。行政、法人、企業のポジショニングをどうしていくのかを思考し、この10年のビジョンを決定することが非常に重要である、と締めくくられました。

地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域と共に尽力してきた当法人のこれまでと今後の方向性に合致する事象を再確認しつつ、これからの10年「それぞれの立場でのまちづくり」につながる大変有意義な講演会となりました。

診療報酬改定関連 勉強会 開催

2024年度は診療報酬はじめ介護報酬、障害福祉法のトリプル改定となり、当院も新設の地域包括医療病棟への変換を決めるなど、大きな変革の年となりました。経営に直結する重要な改定が多く、千春会では、法人幹部職員へ向けた勉強会を開催。株式会社MMオフィス 工藤 高 代表並びに株式会社ASK梓診療報酬研究所 中林 梓 所長をお招きし、改定内容についての理解に努めました。

株式会社MMオフィス 工藤 高 代表 2024年診療報酬改定と今後の病院方向性 ～入院料関連を中心に～

全国的に著名な工藤先生からは、雇用情勢を踏まえた人材確保・働き方改革等の推進、処遇改善など様々な施策の実施、さらには2040年を視野にした役割分担の明確化、医療・介護連携等を示されました。細かくは入院料関係の新基準や評価項目等の変更について、シミュレーションも提示され、多数の資料やデータで詳細にわかりやすく解説していただきました。改定によるルール変更には、慌てることなく方向性の転換を含めた柔軟な対応が大切であると示されました。



株式会社ASK梓診療報酬研究所 中林 梓 所長 令和6年度診療報酬改定のポイントと経営対応

診察報酬等で全国的にご高名な中林所長からも診療報酬では誤解しやすい数字のポイント、賃上げに対する評価や地域包括医療病棟の施設基準等をイメージ図表で大変わかりやすくご説明いただきました。後期高齢者増加後に起こる支える層の大幅減少については働き手確保策にDXの活用、在宅医療連携でのICT活用、将来、医療や介護費抑制につながる寝たきり防止策に対する評価に加え、これまでの「連携」とは違う明確な経営対応が必要となる事などを詳細にお示しいただきました。



ご報告

新任常勤ドクター紹介 5月より

新任のご挨拶

2024年5月1日より内科常勤医師として勤務しています植田 知代子と申します。
20年近く、京都桂病院血液内科に勤務し、主に造血器悪性疾患(白血病、悪性リンパ腫など)の化学療法・移植治療に携わりました。直近3年間は同院緩和ケア科にて、がんに伴う症状緩和治療をおこなってきました。

プロフィール

【学歴】

平成 5 年 三重大学医学部卒業
平成14年 京都大学大学院医学研究科
(血液内科学)卒業

【専門】

血液内科・緩和医療

【職歴】

平成 5 年 京都大学附属病院
平成 6 年 京都桂病院
平成14年 京都市立病院
平成17年 京都桂病院

【資格】

総合内科専門医
日本血液学会専門医
緩和医療学会認定医
がん治療認定医
造血細胞移植認定医
細胞治療認定管理者

血液内科は特殊な薬物治療が多いこともあり、京都府内でも京都市内の大きな総合病院に集中しています。当院では抗がん剤をつかった大掛かりな治療は行いませんが、慢性期の診療、治療後の経過観察、検診などは診療可能です。遠方の病院への通院が負担になってこられた患者様の場合は、通院されていた病院と連携の上、診療にあたらせていただきます。逆に特殊な治療が必要な患者様に関しては、治療可能な病院を紹介させていただきます。

また、血液疾患に限らず、がん患者様の症状緩和などにも対応させていただきます。

診療を通じて微力ではございますが乙訓の地域医療に貢献できるよう努力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



内科・血液内科医長
植田 知代子先生

楽しくにぎやかに開催！

超強化型 介護老人保健施設 春風

(長岡京市久貝1-6-23・サントリービール工場前)

2011年5月にオープンした全室個室(トイレ付)の居室である老健100床、ショートステイ20床、デイケア定員200名という大規模な「介護老人保健施設 春風」。滝の流れるエントランス、ガラス張りの明るいデイケア、充実の施設で注目を集めたことが、つい昨日のことのようです。地域の在宅復帰支援施設として、今は利用者さまだけでなく地域の方々とつながれる場所にもなりました。今年の13周年イベントは一日のデイケア、短時間のデイケア、認知症対応型のデイケア3か所を巡れるよう、映画観賞やカラオケ、リハビリ科セラピストによる体操などを組み合わせ、利用者さまにはいつもと違う体験をしていただきました。利用者さまからの寄せ書きには「死ぬまで来たいと思う。満足している」「送り迎えしていただきおかげで8年たちました」等



「デイケア あお空」で楽しく
リハビリ科セラピストと健康体操



1F「デイケア そよ風」で懐かしい映画鑑賞

お気持ちがあふれる温かいメッセージを書いて下さいました。利用者さまの明るく楽しそうな様子に職員も「胸がいっぱいです」と、笑顔あふれる13周年記念となりました。

13th Anniversary 心温まるメッセージをいただきました

- ・いつもありがとう。頑張って運動して、楽しいです。
- ・これからよろしく
- ・リハビリで今日も元気
- ・13周年おめでとう。感謝！
- ・愛ある施設に感謝します
- ・ありがとうスタッフの皆様
- ・光です
- ・元気パワーいただいています

様々な体験に子どもたちは大喜び

春を楽しむいちご狩り

職員さんの畑でイチゴ狩り

小規模保育園 アトリエ保育園 0才～2才 定員19名

四季折々の美しさや食べ物大切さを自然な形で認識してもらえよう、アトリエでは、田植えやいちご狩り、掘りたて筍の姿などを子どもたちに知ってもらおう体験をしています。今回は法人職員さんの畑に伺い、イチゴ狩りを体験しました。きれいな赤いイチゴはみんな大好物。ご自宅では見られない、畑のイチゴにみんな興味津々です。「先生見て～」と嬉しそうな姿も、とても不思議そうな顔も可愛らしい園児さんたち。

お天気に恵まれた良い日となりました。



イチゴを手に楽しそうな園児たち

お兄ちゃんと一緒に2日間

中学生職場体験 初受け入れ 長岡第三中学校より

きらら保育園 0才～5才 定員60名

きらら保育園では、初めての中学生職場体験を受け入れ、男子2名が体験しました。園庭では「お兄ちゃ～ん」「こっち追いかけて～」と子どもたちが中学生と手をつないだり、遊びをせがんだり、楽しそうです。英語の時間には、子どもたちをしっかりとサポートしていました。中学生たちは「子どもが好きだったので来ました。お兄ちゃ～んと、ひつついてくれ、うれしかった!」「従妹の子どもと良く遊んでいるので経験が役立ち、学校より楽しかった(笑)」との感想でした。

中学生、子どもたち、職員も初めての事でしたが、お互いに「みんなが元気になれた学びの体験」となりました。



子どもたちに囲まれる中学生

歳

せんしゅん

時

記

1

「ご家族向け介護教室」開催中！

19名参加

生涯学習センターバンビオにて

毎月第1水曜日・第3土曜日 14時～15時

「6月食事の工夫」では、管理栄養士が高齢者に必要な栄養、食べ方の工夫、食事の心得などを紹介。食事形態（普通、一口カット、粗きざみ、トロミ、ムース）の違う食事を準備し、ご家庭での悩みや疑問にお応えしました。加齢により、むせる、吞み込みにくい、味覚が鈍いなど食に対する変化が生じますが、それに気づき、適した食事提供で誤嚥性肺炎の予防や食べる楽しみを継続していくことが出来ます。参加者は実際にスプーンを使い、どれが食べやすい固さか等、形の違いを確認され、家庭での調理方法やトロミのつけ方等、管理栄養士に熱心に質問されていました。終了後「おいしく食べてもらう工夫が聞けた」「昨年受講時は普通食だった母が、今は1口カットから刻み食になっている。その先の形を見せてもらえ参考になった」という声をいただきました。その後、参加者から希望があり、管理栄養士がご自宅へ訪問して、調理や栄養指導にも伺いました。食事は、栄養はもとより、生きる意欲につながる大切なことです。これからもしっかりサポートしてまいります。

次回は「7月 在宅生活の工夫」訪問介護の介護士が担当します。他施設のご家族さま、職員の方、ケアマネージャーも参加でき、1回の参加でも大丈夫です。お気軽にお問い合わせください 075-953-6301（介護老人保健施設 春風：研修担当・中谷）



管理栄養士 谷中統括主任に
熱心に質問中のご家族様

歳

せんしゅん

時

記

2

ワクワクドキドキの中学生実習

京都市立 神川中学校

今年も可愛らしい中学生の職場体験を受け入れました。病院には「人の助けが出来、感謝の目で感じられる看護師さん」を将来の視野に入れているという、明るい笑顔の中学生さん。「患者さんとの関わりが深く、看護師さんは思った以上に患者さん一人一人を大切に、笑顔で雰囲気づくりをされていました。目の前の業務をしながら次のスケジュールを確認されていて、看護師さん同士の連携も大切だと思いました。病院には、リハビリ科、栄養科、訪問看護、手術室看護師等いろいろな人が関わり合って成り立っているということに気づきました。学んだことが多かったです。」と、驚くほど、はっきりとした言葉で、しっかりとした考えを述べてくれました。

将来につながる体験にこれからも協力してまいります。



バイオクリーン手術室にて手術看護
認定看護師に学ぶ中学生さん

歳

せんしゅん

時

記

3

長岡京市美化運動
ゴミゼロ運動に参加

今年も長岡京市が取り組んでいるゴミゼロ運動に参画しました。病院の看護師、医事課、リハビリ科などの職員が千春会病院、JR長岡京駅近辺を一斉に清掃しました。

千春会では、常に周辺環境の整備に努めていますが、さらにこれを機会として意識向上に努めてまいります。



JR長岡京駅前を清掃する病院職員

編集後記

今号表紙は、「長法稲荷神社（長岡天満宮業務）」。903年に菅原道真公から自作木像と念持仏を託された中小路宗則が祠を建てたのが起源とも。主神は農耕神、稲荷信仰とも相まって、創建当時は農耕と商売繁盛で「西の長法、東の稲荷」と栄えた後、長年、竹藪に覆われ荒れた様相だったものが、近年整備され見事に蘇ったと聞きます。

今は、明るく伸びゆく竹と広がる青紅葉、深緑とあじさいの紫が、朱の鳥居を見事に引き立たせます。千春会もまた、新しい展開の時を迎え、多くの人財と多様な機能で地域を支え、協力し合ってまいります。互いに引き立つ、妙なるコントラストに重ね…（弘）

表紙写真：元・乙訓医師会会長 七岡先生 ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります（インフォームドコンセント）。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります（セカンドオピニオン）。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千 春 会 病 院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615